

日南町の公共交通について考える (第2回)

地域の実情と持続可能な公共交通を目指して

安心して利用できる公共交通

現在日南町では町営バス、タクシー、一部地域でのNPO法人による有償運送を実施しています。これらの公共交通を維持する為に毎年約7千万円の予算が使われていますが、すべての町民の移動を確保できていくわけはありません。今後人口減少により、利用者がさらに減少していく中で、今までと同じ運行では非効率であり、交通を維持していくことは困難です。

また、近年の事故や運転の不安から高齢者の免許返納が増えつつあります。しかし、日南町で生活する方の多くが、生活に欠かせない移動手段として自動車を使用しており、それは中心部から離れるほど顕著になっていきます。免許を返納した後、「買物や病院への移動手段はどうしたら?」、「自由に外出できなくなるとは?」といった不安もある一方で、「そろそろ免許返納を考えない」と思われている方も多いのではないのでしょうか。町では、そういった方たちにも安心して利用しやすい公共交通を目指して新たな取組を進めています。

課題解決に向け中央大学・鳥取県と共同で公共交通の調査を実施

今年度から2年間中央大学と鳥取県と共同で公共交通に関する調査を実施しています。この調査では、従来と異なり対象地域をひとつの地域(福栄)に絞り、すべて対面での聞き取り調査を行っています。今年度は1年かけて調査を実施し、来年度調査結果を元に地域の実情にあった交通サービスを検討していく予定です。これにより一つのモデルを構築し、順次他の路線に広げていくことを検討しています。また、調査対象の福栄地域においては、今年度中に調査結果と方向性について地域住民説明会を開催する予定です。

町営バスダイヤ改正について

これまで10月1日のバスダイヤ改正に向けて取組んできたところですが、昨年度実施したアンケート調査から「町営バスの仕組みがわかりにくい」、「デマンドバスの利用法がわからない」といった意見が多くあったこと、また、今回の調査が実施されることに伴い、現時点で大幅なダイヤ改正を行うことはいったん保留としました。町営バスの周知、デマンドバスの周知を改めて行い、必要に応じて出張説明会なども行います。

【公共交通調査スケジュール】

年 月	R1			R2				R3			
	8	10	12	2	4	6	8	10	12	2	4
聞き取り調査											
調査結果のまとめ											
地域住民説明会											
新たな交通体系の構築											
実証運行調査のスケジュール											

ドアツードア(自宅の玄関から目的地の玄関まで)運行の拡充と持続可能な交通を目指して

日南町は高齢化率50%を越え、今後増加傾向にあります。こうした中でバス停まで歩くことが難しい方、重い荷物を持つことが難しい方が増え、自宅から目的地までドアツードア

運行の需要が高まっています。現在はタクシーとNPO法人による有償運送がその移動を担っていますが、すべての需要に対応できていないわけではありません。現在、運行時間、運行経費、タクシーとの競合など様々な課題からデマンドバスのドアツードア運行は実施できていませんが、この課題を解決できるように取り組んでいますし、中央大学・鳥取県との調査もそのひとつです。また、今後は「共助交通」などの地域住民によるドアツードア運行も必要であると考えています。町営バス、タクシーだけが交通手段ではなく、地域の交通を守る新たなツールとして行政・交通事業者・地域住民が一体となって持続可能な公共交通を目指していきたいと思っています。

お知らせ

10月1日より、町営バスの時刻表が新しくなります。かねてより時刻表が見づらいとの意見を多くいただいております。現在、時刻表の見直しを行ってまいります。今回の時刻表は路線ごとに作成し、路線ごとにすべてのバス停を掲載する予定です。また、時刻表の裏面にはデマンドバスの使い方、巡回バス時刻表を掲載する予定です。時刻表は町報10月号(9月25日発行)と一緒に配布いたします。各世帯の利用路線の時刻表を配布いたしますが、配布された路線以外の時刻表が必要な場合は役場企画課(82-1115)までご連絡ください。

